

第 85 話 (67 頁) ブン ブン ブン

コガネムシがとんできて、ブンブン、ぶんなぐる。
ガチョウがたずねて、ダーダー、だーれを？
子牛が答えて、ぼーくかなあ、ぼーくかなあ。
アヒルがふるえて、コワッコワッ、こわーい。

「とても短いし、どんな意味があるのか、って思うけれど、日本語で読んでも、すごく歯切れがよくて、リズムカルだね。」

『ブンブン、ぶんなぐる』『ダーダー、だーれを？』『コワッコワッ、こわーい』。三つの行の最後とも、発音を重ねている。もう一つは『ぼーくかなあ』の反復だし…」

「ロシア語の原文が気になるなあ。」

「直訳すると、こうかな。『コガネムシが飛んできて音を立てた、ぶんなぐるぞ、ぶんなぐるぞ。ガチョウが尋ねた、だれを、だれを。子牛が言った、僕を、僕を。ガチョウが話す、そうね、そうね。』という話だけど、これでうまく伝わるだろうか。」

「なるほど。訳者は随分苦勞して、原文の字句のままというより、そこに込められた雰囲気を活かそうとしたことが分かるよ。」

「翻訳の難しさの例文みたいだ。原文も日本語も味わい深い。」

「ロシア語では、三つ目までの動詞は過去形で、ガチョウの動詞だけが現在形だ。この過去と現在の時制も、テンポよさの背景かな。」

「とにかく読んでいて気持ちがいい。ロシア語の 1 行は、どこも 4 拍か 5 拍になっていて、基本的に弱強のアクセントを付けている。」

「読んだときの音の響きの面白さで、子どもたちがアルファベットを自然に覚えられたらいいとトルストイは考えたんだ、きっと。」

「コガネムシが子牛にまわりつこうとした光景から連想したのだろうか。あとのガチョウも、アヒルも身近な動物だ。」

「ここは話の筋道や意味は難しく考えなくていいよ、と息抜きの狙いもあったかも。」

「あれもこれもみんなひっくるめて、やっぱり、トルストイは巧みだ、ということか。」